

下町感覚のマレで過ごす
モダンなパリ

したい。暮らすように旅をするなら、マレ地区がおすすだ。ここ数年前からマレは北にグンと拡大し、マレ地区という2、3、4区、そしてオペルカンフ、レリュブリックの11区までつながりつつある。だが、このエリア内なら、どこに行くにも徒歩圏だ。下町感覚が残るマレだが、昔ながらのカフェはモダンな内装に変わり、ユーロとともに値上がり中。でも、まだまだ地元で根づいたカフェバーや、ふらっと立ち寄れるピスト

たくさんある。ブルターニュ通りのカフェ、ル・プログレ、ヴィエイユ・デュ・タンブル通りのラ・ベルルのテラスは、この辺りに住む業界人の溜まり場になっている。
日曜日は、美術館巡り、映画館、公園、マルシェ等がおすすだ。ゆっくりブランチをとり、その後の気分が動くのもいい。パリっ子を気取ってマルシェに繰り出すなら、毎日開いているアリーゲルのマルシェがいいだろう。リシャール・ルノワ

シェ、オベルカンフのマルシェも週に2回はやっている。それからマレの穴場マルシェ、アンファン・ルージュも昼時は人でいっぱいだ。アイティストやクリエイターのアトリエやプレスが多く点在している北マレは、以前ギャラリが多かった場所に次々とショップが建ち並び、今ではショッピング街へと変貌中。パリ中のおとんどショップがお休みの日曜日でも、マレなら開いているので至れり尽くせりだ。

人気建築家が手がける
最新マレの
リニューアルホテル
アクシアル・ボブール・デュオ
Axial Beaubourg Duo

5月に隣のホテルを改装し、「Duo」としてリニューアルを遂げたアクシアルボブール。今までは地下にあった朝食ルームも、1階のバーの奥にリビング風の空間として生まれ変わり、もともとのクラシカルな雰囲気をいかした、モダンなホテルへと変貌を遂げた。3ツ星でありながら、新館の地下にはフィットネスとサウナも完備。テレビを観ながらウォーキングが楽しめる。新しく16室増えた客室のうち2部屋にはハンディキャップ用のアクセスもあり、全58室のうち30室がデラックスダブルルームになっている。新しくできた3つのジュニアスイートに加え、9月よりテラス付きのスイートルームもお目見えする。日曜大工で有名なBHVデパートの裏手にあり、リピーターが多く、いつも予約で一杯となっている。

1 建築家ジャン=フィリップ・ヌエルが手がけた新館のデラックスダブルルームは270〜300ユーロ。
2 5月にオープンしたホテルのバーは、ガラス張りです自然光が気持ちのよい雰囲気。
3 新館の地下に設けられたフィットネスコーナー。3ツ星のプチホテルでサウナ付きは珍しい。

11, rue du Temple, 75004 Paris
☎01 42 72 72 72
☎01 42 72 03 53 www.duodubois.com
(9月からの新サイト)
全58室 / シングル115〜155ユーロ、ダブル170〜300ユーロ、ジュニアスイート320〜350ユーロ、41〜440〜430ユーロ、朝食14.2ユーロ
MAP ● (22)

